

様式第 10

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
富士宮市	富士宮市	平成28年度～令和3年度	平成28年度～令和3年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 /目標
排出量	事業系 総排出量	t	t	t %
	1 事業所当たりの排出量	t	t	t %
	生活系 総排出量	t	t	t %
	1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	kg/人 %
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	t %
再生利用量	直接資源化量	t	t	t %
	総資源化量	t	t	t %
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh %
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	t %

※目標未達成の指標のみを記載。
(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成26年度)	目 標 (令和3年度) A	実 績 (令和3年度) B	実績 /目標
総人口				
公共下水道	汚水衛生処理人口	69,884	75,642	62,371 82.5%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	51.8%	56.7%	48.1% 84.8%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	159	161	123 76.4%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率			
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口			
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率			
未処理人口	汚水衛生未処理人口	49,339	36,651	42,126 56.8%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

- ・公共下水道について

富士宮市全体の人口が減少しており、下水道処理区域内の人口も市外もしくは浄化槽処理区域へ流出していることから、目標である75,642人に対して、実績は62,371人に留まった。上記の理由の他、下水道整備計画時よりも物価が上がり、計画に対し下水道整備延長が伸びなかったことや、下水道整備後に浄化槽から下水道への接続が進まなかったことが目標達成できなかった要因の一つと考えられる。

上記の要因により未処理人口も目標達成できなかった。

- ・集落排水施設について

当該地域の人口の動向が押し量りきれなかったため。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和9年度まで

- ・下水道整備計画をもとに着実に公共下水道整備区域の拡大を図り、下水道整備がされた区域に対し広報や戸別訪問により早期接続を周知し汚水処理人口の増加を図る。また合併処理浄化槽についても単独処理浄化槽や汲み取りからの転換を進めるため、回覧板や戸別訪問を引き続き行いたい。

(都道府県知事の所見)

単独処理浄化槽及びくみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換について、住民に対する転換のPRを引き続き進めることで、市全体の未処理人口の解消を着実に図っていくことを期待する。